

JAバンク千葉における地域密着型金融の取組状況（平成 25 年度）

JAバンク千葉（千葉県下JAと千葉県信用農業協同組合連合会・農林中央金庫千葉支店）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 25 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （JAバンク千葉の農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク千葉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク千葉は、JA自身の資金を原資とする各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 26 年 3 月末時点のJAバンク千葉の農業関係貸出(注 1)残高は 19,218 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は 3,420 百万円となっています。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円、件）

営農類型	26 年 3 月末現在	
	件数	金額
穀作	1,473	3,551
野菜・園芸	3,076	6,699
果樹・樹園農業	374	742
工芸作物	29	60
養豚・肉牛・酪農	471	2,105
養鶏・鶏卵	33	289
その他農業（注 2）	1,733	5,004
農業関連団体等（注 3）	19	765
合計	7,208	19,218

（注）

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク千葉は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク千葉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

種 類	平成 25 年度 実行件数	平成 25 年度 実行金額	平成 26 年 3 月末 残 高
就農支援資金	6	39	284
そ の 他	0	0	0
合 計	6	39	284

(2) 経営不振農業者の経営改善支援

JAバンク千葉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 25 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】 (単位：先)

債務者区分	期初 経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生計 画を策定した先 数 a	Aのうち期末 に債務者区分 がランクアッ プした先数 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかつた先 数 c	事業計画策 定率 = a/A	ランクアッ プ率 = b/A
正常先①	3	0	-	3	0.0%	-
要 注 意 先	うち 其他要注意先②	2	2	0	100.0%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	-	-
破綻懸念先④	5	2	0	4	40.0%	0.0%
実質破綻先⑤	0	0	0	0	-	-
破綻先⑥	0	0	0	0	-	-
	小計(②～⑥の計)	7	4	5	57.1%	0.0%
	合 計	10	4	8	40.0%	0.0%

(注)

・期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 25 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク千葉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンク千葉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【平成25年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	平成25年度 実行件数	平成25年度 実行金額	平成26年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金(注1)	1	34	98
畜産特別資金(注2)	1	83	323
合計	2	118	421

(注)

1 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

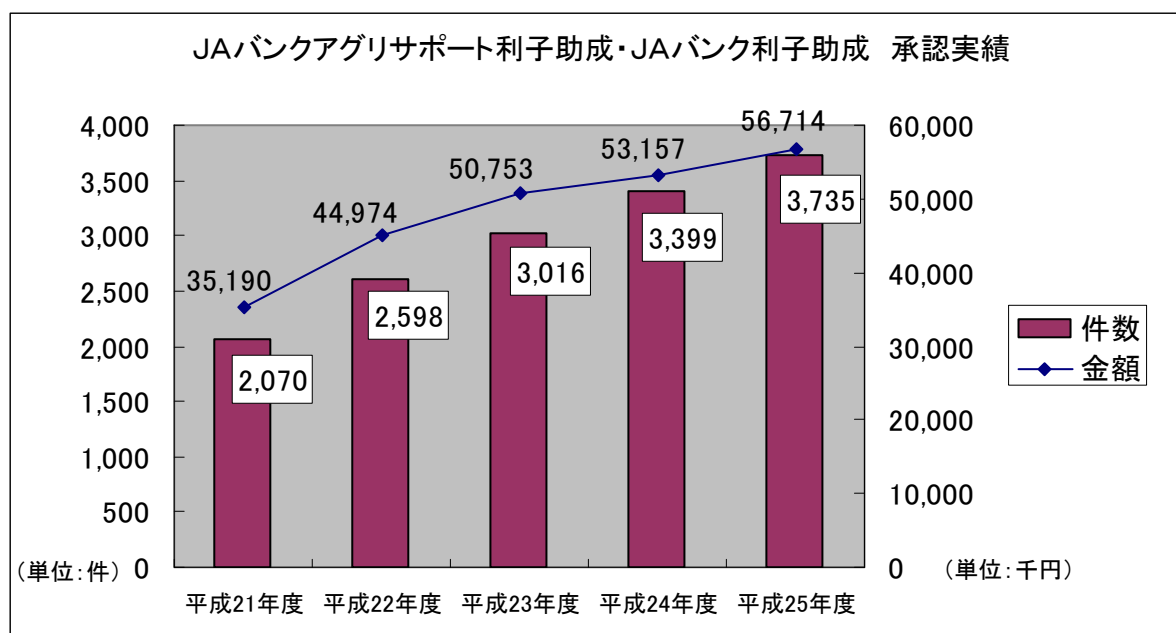
2 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 農業融資への利子助成の実施

農業者に対するJA農機ハウスローン、アグリマイティー資金、農業経営改善促進資金等の融資について、農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い、農業担い手をサポートしています。

①利子助成実施状況

平成25年度は19JAで3,735件、56百万円の利子助成を行いました。



②農業近代化資金への利子助成

平成23年度まで、農業近代化資金は当基金による利子助成対象外資金となっておりましたが、平成24年度より、利子助成対象資金として追加されております。

なお、平成26年4月以降に資金実行した案件については、対象資金の要件を「当初借入金額5百万円超の資金」から「当初借入金額1百万円以上の資金」へ変更しており、利子助成対象資金の範囲が拡大されております。

【農業近代化資金への利子助成内容】

対 象 者	対象期間にJAから借入れを行った、JAグループの地域営農ビジョンに基づく取組みとして、JAの推薦を受けた担い手経営体などで、助成対象期間終了時点で当該資金について延滞が無い者。
対 象 残 高	当初借入金額が1百万円以上の資金とする。 ただし、平成24年4月～平成26年3月末までに実行した資金については、当初借入金額5百万円超の資金を助成対象とする。(平成24年4月～平成25年3月まで、または、平成25年4月～平成26年3月までにJAから借入れた当初借入金額の合計が5百万円超となる場合を含む。)
対 象 期 間	平成24年4月～平成26年12月
助 成 率	1%以内
助成後下限利率	0% (保証料を助成率の計算に含めない)
助 成 期 間	借入日から5年間 (借入日から5年後の応答日の前日まで)

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク千葉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。

(1) 被災者・生産資材高騰等への支援

JAバンク千葉では、災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	JA名	内 容	件数	貸付実行金額
平成25年10月の台風による県単災害資金	JAいんば (現JA千葉みらい)	台風で農産物等の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利資金を対応しました。	10	16
平成25年10月の台風による県単災害資金	JA富里市	台風で農産物等の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利資金を対応しました。	19	25
梨の天候不良等災害対策資金	JAいすみ	花粉の交配時期の天候不良による着果不良・黒星病・高温障害等により被害を受けた梨農家に対する支援対策として、低利資金を対応しました。	7	4

生産資材高騰に対応する農家組合員支援対策	JAちばみどり	農業生産資材の高騰ならびに農産物の価格低迷に対応し、組合員の農業経営安定を図るため、低利資金を創設しました。	14	13
農業生産資材購入にかかる特別支援対策	JAちばみどり	組合員の農業生産コストの負担軽減を図るため、低利資金を対応しました。	96	125
合 計			146	183

(2) 地域住民の農業に対する理解促進

JAバンク千葉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校約 840 校へ 67,200 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、JAバンク千葉では、健全な青少年の育成に貢献するため、前年度に続き、第 36 回千葉県少年サッカー選手権大会へ協賛しました。

以上